

## 経営のヒント203 前はジョブズ、今回はイチロー

### 「不要なものを捨てる」

前はスティーブ・ジョブズ、今回はイチローです。

まったく同じことを言っていますから、ご紹介します。

あなたはピンチの時、知識や技術をどんどん「付け加えていく」ことが正しい解決法と思いこんでいないでしょうか？

「もっと知識を増やせばこれを乗り越えられるのでは」

「もっと色々な仕事をすれば自分の力になるはず」と

しかし、残念ながら、その方法で大成した人はほとんどいません。

「今でもブレない自分というものが完全に出来上がっている訳ではないですよ。ただ、その時々感じたものを削除するという行為を繰り返してきただけなんです」これは、ある記者にバッティングの技術で一番気をつけていることを尋ねられたときのイチロー選手の言葉です。

### 自分に「プラスしていく」のではなく、自分が持っているものから「マイナスしていく」

この至極シンプルな思考・行動パターンは、彼の集中力の根源そのものです。

余分なものを取り除く作業に没頭すると五感が研ぎ澄まされ、徐々に自分のコアな部分が見えてきます。

イチロー選手もこうして自分の余分なものや悪い点を取り除いていき、自分がその時にいいと思った一点に向かって突き進むことでピンチを脱し、一步一步ステップアップしていったと言っています。

数年ごとに変化するバッティングフォームは、その良い例ではないでしょうか。

### 「Un - Learn (アンラーン)」という言葉があります。

これは学ばないという意味ではなく、「脱学」つまり知識のぜい肉を取り除くという意味です。

日本人は知識さえ得れば賢くなる、偉くなるという錯覚にとらわれがちですが、集中力を身につけ大きく成功したければ、イチロー選手のように「捨てる」意識を持つべきです。

### これは「無駄な仕事をしない」ということにも通じます。

目の前にある仕事は自分にとって大切なのか、そうでないのか。

集中力を養うには、「自分に本当に必要なものは何か？」

と自分自身に問い続けることです。

ピンチにおいては捨てるべきもの、無駄なこと、中途半端に終わりそうだったことは潔く捨てるようにして下さい。

参照「イチロー 集中力」 児玉光雄 PHP文庫

### <経営のヒント>

#### 21世紀のキーワードは「アンラーニング」

ピーターセンゲは学習棄却、ドラッカーは体系的廃棄、と言っています。

本質は囚われるな！本質を洞察しろ！ということです。

自分にとって「無駄な仕事」は何か？

そんな問いかけをする時間をとりましょうね。せっかく年末年始ですからね。